

令和4年度 第12回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和5年3月10日(金)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後 2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
↓		
午後 4時00分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 港 耕作
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和4年度第12回教育委員会定例会を開会した。

2 令和4年度第11回定例会会議録及び第1回臨時会会議録の承認について承認

3 議事

議案第5号 令和5・6年度垂水市学校薬剤師の委嘱について

議案第6号 垂水市学校事務処理規程の一部改正について

議案第7号 令和5年度『垂水市の教育』基本方針について

4 その他

今後の「垂水市教職員住宅の在り方について」教育委員へ説明。(教育総務課長)

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第5号 令和5・6年度垂水市学校薬剤師の委嘱について</p>	<p>令和5・6年度の垂水市学校薬剤師の委嘱について、教育委員会に議決を求めるものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第6号 垂水市学校事務処理規程の一部改正について</p>	<p>垂水市学校事務処理規程の一部改正について、教育委員会に議決を求めるものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第7号 令和5年度『垂水市の教育』基本方針について</p>	<p>令和5年度『垂水市の教育』基本方針について、教育委員会に議決を求めるものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

議 事 内 容 等

<p>3 議 事</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>議案第5号 令和5・6年度垂水市学校薬剤師の委嘱について 令和5・6年度の垂水市学校薬剤師の委嘱について、その内容を説明。</p> <p>児童・生徒数によって、謝金が変わるのか。</p> <p>実際に薬剤師が何かを見るということ、診察をするわけではないので変わらないと思う。</p>
---	--

教育総務課長	<p>議案第6号 垂水市学校事務処理規程の一部改正について 垂水市学校事務処理規程の一部改正について、その内容を説明。</p>
	<p>質疑なし</p>
	<p>議案第7号 令和5年度『垂水市の教育』基本方針について</p>
教育総務課長	<p>垂水市立学校管理規則の一部改正について、その内容を説明。</p>
	<p>令和5年度『垂水市の教育』基本方針（案）については、2月の教育委員会定例会の「その他」で頭出しをして、今回、正式に議案として提出させていただいた。承認していただければ、令和5年度教育行政要覧として印刷をする予定である。まだ、作成までは時間的に余裕があるので、何かお気付きの点があったら、ご一報いただきたい。</p>
教育長	<p>今、説明があったとおりであるが、今年は骨格予算というところで、プラスアルファの部分は、また補正で対応することになる。そこを見込んで書き切れなかった部分もあると思う。例えば、青少年海外派遣事業。6月から香港便も始まるので、まず視察を行いたい。前回の学校が非常によかったのもう一度連携を図って実際の情勢・状況を見ていただきながら、できるできないの判断をしていきたい。航空機の金額が安価な時期に思っているが、一番は安全性を担保が取れるかどうかなので、保護者の声も聞きながら進めていきたい。</p>
田之上委員	<p>新総合八つのプランを保護者も見ることができるようにした方がいいのではないかと。</p>
教育総務課長	<p>教育行政要覧に掲載してあるもので、保護者へは配布していない。</p>
田之上委員	<p>学校の廊下の掲示板等に貼り出して、保護者の目に触れるようにするのもいいのではないかと。</p>
学校教育課長	<p>PTAの総会資料に入れれば、欠席しても全家庭に届くのでいいのではないかと。</p>
4 その他 教育総務課長	<p>今後の垂水市の教職員住宅の在り方について、その内容を教育総務課長が教育委員の方々に説明した。</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>

田原委員

「三学期の行事等について」

各校の学校だよりを読ませてもらった。一年の締めくくりであり、新年度の準備の時期でもあるこの時期であるが、価値ある行事がしっかりと実施されていることに感心した。協和小のキャリア講話、水之上小のお仕事講話は、いずれもJALふるさとアンバサダー兼客室乗務員によるお話で、かっこいい制服姿のお姉さんが学校に来て飛行機のことやキャビンアテンダントの仕事について説明してくれることで、非日常的な体験となり感動したことと思う。今も昔もあこがれの仕事なので、小学校の内からこのような体験ができたことは素晴らしいキャリア教育だと思う。

「県外客に分かりやすい登山標識を」

2月28日に高隈連山・大笹柄岳に登った。当日は快晴無風で寒くなく、絶好の登山日和であった。私は、事前に知人から話しに聞いており、山歩きの本で調べていたが、垂桜集落から大野原林道を通って大笹柄岳の登山口まで行くのに手間取った。集落から4キロと知っていたが、実際山道の悪路を走ってみると、まだだろうか、途中登り口の標識を見落としたのではないかと不安になった。時間にすれば20分ぐらいだったと思うが、とてつもなく長く感じた。ようやく見付けて、登り初めて2時間50分で頂上に到着。山頂からの眺望は最高で、眼下に垂水市街地、錦江湾を挟んで鹿児島市街地や南に開聞岳や金峰山、北に桜島やその奥の霧島連山が一望でき、真近の御嶽や妻岳、横岳も下に見え、白山はずっと下に見えた。弁当を食べていたら、4人のグループが上がってきた。一緒に弁当を食べながら話をしたら、山口県から来たという。昨日は隣の御嶽に登ったという。今日の内に高速で帰ると語った。更にもう一人登ってきた。この人は長野県から来て、明日は高千穂に登ると語った。いずれも年齢は60代後半から70代初めの方々に、全国の山々を踏破していると聞いて元気をもらった。この方々が、口々に話していたのが、大笹柄岳は登山口が分かりにくい。たどり着くのに、苦労したということであった。垂桜集落から大野原林道に入ると、登山口までの4キロ余りの林道に標識が一本もない。地元の私でさえ標識を見落としたのであろうかと不安になった。まして、県外の人にとっては尚更である。せめて、2～3本の案内標識が欲しいと思った。

葛迫委員

3月5日から12日まで開催されている「二科展」の巡回展が鹿児島県歴史美術センター「黎明館」で開催されていきましたので、8日に行ってきました。本市の町田亨先生は生涯を通じて二科展に出品されていましたが、残念ながら寂しい感じがしました。京都嵯峨美術大学で教授をされている本市出身の入佐美南子さんの作品も、二科展の会員として「生成‘22」を出品展示していました。無彩色の色調の中に生命の源である赤（橙色）と緑（黄緑色）の色を配して創られた細胞のようなイメージには、神秘性を感じる素晴らしい作品でした。垂水市と二科会の繋がりを感じながら観覧することができた。また、その後に市立美術館の展示室において、第37回小学校書写展が開催されていたので覗いてみました。鹿児島県小学校書写教育研究会が主催していましたが、美術館の講堂での展示で、展示作

品が少なく感じたところです。垂水市では協和小学校が出品し、二人の児童が南日本放送賞・南日本書道会賞を受賞、学校奨励賞にも協和小学校が選ばれていました。受付の方に聞いてみると、垂水市では協和小学校だけで、肝属地区は5校だけの出品ですと教えてくれました。校区に書道教室があつたりするとそこで研鑽する子供も多くいることで、学校賞に輝いた鹿児島市立西陵小学校では、「文字を書く基礎である”姿勢”や”筆記用具”の持ち方を大切にしています。また、課題解決学習の中で”解決のカギ”を考え、他の文字にも応用できるようになるなど、学年に応じた学習を進めています。気付きを促し、自己批評や相互批評の時間を設け、児童が解決していく姿が、短い時間の中にたくさん見られます。」と受賞の喜びを語っていました。鹿児島県書道展や南日本七夕書道展など、多くの方たちに周知された展覧会もありますが、このように小さな書道展でも、美術館や黎明館などの展示場で展示された作品を観て、児童が自信を持ち楽しく学習することができることによって、上達する喜びが実感できる。これからの学ぶ姿勢に繋がってくれたらと感じることでした。

田之上委員

『絵本週間』を控え、市報3月号で絵本の特集がされていた。幼児期の親子の関わりの中での絵本、読み聞かせボランティアの活動や思い、市立図書館の活動、行政の関わり、そして、絵本の紹介など、少し大きな文字で、紙面も余裕を持って作られていて、とても読みやすい感じがした。この特集が、一人でも多くの方が、絵本の豊かな世界にひたり、本に触れるきっかけになったらいいなと思った。

学校は学年末を迎え、子供たちを取り巻く環境も、日常を取り戻しつつあるようです。しっかりとまとめをして、春休みを安全に楽しく過ごし、できることなら多くの体験をしてほしいと願っています。

垂水児童クラブでも、新年度の準備が始まり、新一年生の入所説明会も実施したところである。近年、希望者が増えており、新年度は4年生以上については、預かりをお断りせざるを得ないところである。完全面などから学年が上がっても、引き続き利用したい児童が多く、定員を超える希望者がいるのが現状である。

福里委員

3月2日に垂水小学校の授業参観と学級PTAがあり参加しました。授業参観は比較的保護者の人数も多かったが、PTAはとても少ない人数でした。学習面は、担任の先生のお陰で、単元テストの平均点も全部80点以上でした。先生の話の中で、学習面は、語彙力・読解力を高めるために積極的に読書に取り組みしましょう。本の冊数ではなく、本の内容のレベルアップをすることが大事だと話され、生活面では、忘れ物がなかなか減りませんでした。また、宿題忘れも常に一定数いました。子供たちも習い事や少年団などで忙しい毎日ではありますが、その中でもうまくやりくりをして宿題や時間割チェックをする時間を確保できたらいいなと思います。

教育長

高学年になると学習内容も難しくなります。家庭学習の習慣をしっかり身につけられるよう、来年度も、学校と家庭と連携していきましょうとあった。

3月3日は、中央中学校の学年・学級PTAがあり参加した。こちらも参加人数が少なかった。学級PTAの中では、1年2組の3学期の様子について話された。3学期は、授業態度などもよくなり学習面でも2組が1番成長したと話されていた。クラスのまとまりも良くなり、すごく成長したと話されていた。今年度の一年間で、二人の子供たちは、コロナに感染してお休みした以外は、休むことなく学校に行くことができとても嬉しく思う。特に息子は、中学生になり初めてのことが多く心配したが、先生方が悪いことをしたときは厳しく、よいことをしたときには認めてくださり、とても感謝しています。

令和4年度、今日で定例の教育委員会は、締めの手配ということになりました。一年を振り返りますと、やはりコロナ禍との戦いでした。その中で、いろんな学校行事、PTAの行事もそうですけど、工夫をしながら、それぞれやっていただきまして、感謝申し上げたいと思います。先ほど、「体験」という言葉が出てきておりましたけれども、子供たちにとって、いかにこの「体験」が大事かということ、また考えさせられた年度でもありました。そういうことで、先程、田原委員もおっしゃいましたけれども、これから、いろんな体験が、またできていくのかなということも、期待したいと思います。

教育委員会を振り返りますと、4課長を中心に、よく頑張っていたいただいた一年だったかなと思います。学校教育課もそうですけれども、教育総務課、そしてまた、社会教育課、国体推進課がそれぞれ課題はあるのですが、しっかりと係長さん、そして職員を束ねて、やるべき会議だとか、行事だとか、イベントをやってもらいました。結果、満足度も高かったのではないかと思いますし、学校教育でいうと結果も出したと。そして国体推進課でいうと、やはり運営スキルもかなり付いてきたなというふうに思っています。社会教育課もいろいろと課題のあった年でしたが、課長を中心に、柔軟に対応していただいたと思っています。

教育総務課もよかったですね、垂水高校2科で37人出願。最終的に、受験人数が35人。公立高校の合格発表が3月15日にございますので、子供たちが夢を叶えてくれればいいなと思います。

小学校の卒業式の告辞については、教育委員の皆様方よろしくお願い致します。子供たちが、是非自分の将来を考えて、一回りも二回りも大きく成長していった欲しいなと思っています。

話は変わりますが、今後のマスク着用の件ですが、3月13日からは、一般的には、各々の判断でということになります。学校もおそらく、卒業式は、歌う場面だけマスクを着用し、それ以外は外してもよいということになります。保護者の方々には、付けていただくことを基本としますが、中にはマスクを取る人もいます。しかし、そのような人に対しても、どうこうは言えないと思います。教育委員の皆様にも、告辞の場面では

はマスクを外していただきますが、それ以外では付けていただくことになります。今後は感染状況を見ながらということなのでしょうけど、この3月、4月の異動時期で、どうなるかまだ分かりませんので、学校は卒業式だけなんです。卒業生だけはマスクを外してよいのですが、他の生徒については、今年度中は、学校ではマスクを着用することになります。

最後に、大隅地区で行われます読書の魅力を伝える活動推進研修会というのが、令和5年度、9月6日に本市で開催されます。コロナで3年ぶりの開催ということになります。県の県立図書館の方から課長以下4人お見えになり、先般打ち合せがございました。読書の大切さについて、話されていましたが、そういう機会になればと思います。対象者は本来であれば、こういう方々が出られなくても魅力、十分お分かりの方々なんですよね。でも久しぶりということですね、また改めて、魅力を感じる場になればなというところです。中身については、読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル、ストーリーテリング、アニメーション等々です。あとは、色々なワークショップを計画しているところで、対象は150人を想定しております。PTA親子読書会、読書ボランティアの方々、あと、学校応援団、図書館関係者、教職員ということになろうかと思っています。

福島さんが主となって、準備対応に当たっていますので、是非またこれも、お越しいただければ有難いと思っていますので紹介しておきます。上手くスタンスを少し変えてですね、子供読書活動をアピールする場だけではなく、大人の読書活動も大いに取り入れていくというところで、大人にまずもって読書の魅力を感じて欲しいという、そういう研修会にもしたいというふうに、課長さんのお話をされました。そういう読書のよさを、改めて感じる機会もあればなと思っていますので、またご案内申し上げます。是非御参加いただければありがたいなと思います。幼稚園の先生も対象になりますのでよろしくお願いいたします。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

2月10日から3月10日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、3月11日から4月11日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会

